

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、当社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて継続的かつ安定的な賃上げや業績に応じた賞与水準の確保、働きがい・やりがいのある職場づくりに取り組むとともに、教育訓練等について、社員の継続的な成長・育成を支援するための教育・研修、並びに自己啓発支援制度・資格取得支援制度の拡充に取り組んでまいります。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/71005-14-00-tokyo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

#### 3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、当社の目指す長期的な目標や理想的な未来像=Visionとして「幸せのピースになる」を掲げており、これはお客様、地域・社会、取引先・協力会社、従業員およびその家族、株主、関わる全てのステークホルダーに当社の信条=Credoとしてお約束するものです。当社は、相手の立場に立ち、共に

働く仲間とお客様に寄り添う「心地よい加減」のサービスを提供することを積み重ね、その土地を想い、地域に寄り添い、地元で愛されることで「街と、もてなす。」サービス・価値=Value を実現し、ステークホルダーとともに「幸せのピースになる」ことを目指します。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2025年2月14日

三菱地所ホテルズ&リゾーツ株式会社

取締役社長 大島 正也